

# 2018年度（40期） 事業計画書

自：2018年4月 1日

至：2019年3月31日



**公益財団法人 関西盲導犬協会**

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

**公益財団法人 関西盲導犬協会 2018年度事業計画書**  
**(2018年4月1日-2019年3月31日)**

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 貸与計画 (歩行指導)

① 貸与目標

今年度は少なくとも10頭の盲導犬を育成し、12名の視覚障がい者に貸与する。うち新規貸与者は4名、タンデム方式(夫婦で1頭の盲導犬を使用する方式)は2組を予定する。

② 新規希望者への働きかけ

- a. 盲導犬貸与希望者への体験歩行と体験生活を実施する。
- b. 行政ならびに関係団体と連携し、新規希望者へのアプローチを強化する。
- c. 盲導犬貸与を控えた待機者への継続的なアプローチを実施する。

(2) 盲導犬ユーザーへのフォローアップ

① フォローアップ

専任指導員を中心としたフォローアップ体制を継続し、定期的なフォローアップならびに公的機関や福祉施設等、地域の社会資源を活用したフォローアップを実施する。

② 盲導犬へのケア

- a. 盲導犬に対する医療費助成を継続するとともに、新たに各ワクチン接種を含む予防的な医療費に対しての助成を行う。
- b. 引退を控えた盲導犬に対する健康診断を継続実施する。

(3) 盲導犬貸与委員会の開催

公正な盲導犬貸与を実施するため、第三者委員で構成する盲導犬貸与委員会を毎月1回開催する。

(4) 犬の育成とケア

① 繁殖

- a. 子犬40頭をパピープログラムに投入するための繁殖を行う。
- b. Asia Guide Dogs Breeding Network(略称AGBN)をはじめとする、国内外の犬の育成施設と引き続き連携し、質の良い繁殖犬の確保を図る。
- c. 犬の凍結精液の作成・保存ならびに人工授精技術の向上を図る。

② パピーウォーキングならびに木香テラス

- a. 巡回指導・パピースクールを通して、パピーへの健康管理と教育、パピーウォーカーに対する飼育指導を継続する。
- b. 子犬時代の学習および社会化プログラムを組織的・計画的に実施するために、担当制を見直し、部門を統合した「育成チーム」の編成を目標とした検証と試行的なプログラムを実施する。
- c. 獣医師会と連携し、訓練犬をはじめとする木香テラスの犬たちの健康管理体制を継続する。

③ リタイア犬のケア

飼育相談や医療費補助など、リタイア犬のケアならびにリタイア犬ボランティアをサポートする現行の体制を継続する。

## (5) 訓練部職員の養成と採用

### ①職員のスキルアップ

- a. 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会が主催するセミナーならびに各種研修会へ職員を派遣する。
- b. 2018年秋にオーストラリアで開催される国際盲導犬連盟のセミナーへ職員を派遣する。
- c. 育成・訓練技術の向上を目的に、訓練部職員を国内の育成団体の見学・研修に積極的に派遣する。

### ②職員の採用

訓練部の職員を新たに採用し、盲導犬訓練士ならびに盲導犬歩行指導員として養成をする。

## (6) フレンドドッグ事業

ボランティアの協力のもとリタイア犬ならびにキャリアチェンジ犬をとめない、高齢者福祉施設等への訪問を継続するとともに、検討委員会を定期的に開催し、事業化に向けた取り組みを実施する。

## (7) 調査研究

2017年度に引き続き、京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を実施する。

## (8) その他

### ①ドッグフード販売の外部委託

盲導犬ユーザーが発注するドッグフードは、一般社団法人「盲導犬総合支援センター」に委託する。

### ②共同授業の実施

京都造形芸術大学との共同授業に関する事業を実施する。

## 1-2. 相談事業

### (1) 盲導犬事業に関する苦情・相談等への取り組み

#### ①盲導犬・視覚障がい者に関する相談等

盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、相談担当職員、フォローアップ専任指導員、第三者委員が連携して迅速な対応を図る。

#### ②行政窓口との連携

認定NPO法人全国盲導犬施設連合会と連携し、行政窓口への報告を実施する。

## 1-3. 啓発普及事業

### (1) 啓発普及活動

#### ①盲導犬ならびに視覚障害に関する普及啓発

- a. 盲導犬ユーザーを主体とした啓発普及活動の実施体制を構築する。
- b. 月1回の定例見学会を継続する。
- c. 機関誌「ハーネス通信」を年4回発行する。
- d. 行政ならびに視覚障がい者団体等と連携して啓発普及活動を継続する。
- e. ホームページの活用をはじめ、より効果的な情報発信のあり方を検討する。

## (2) 協会主催ならびに共催イベント

### ①協会主催イベント

例年どおり「オープンデー」、「慰霊の日」、「ボランティアズ・デー」を開催する。  
また、木香テラスを会場とした小規模イベントを継続する。

### ②公開出発式(仮称)

今年度の盲導犬貸与ユーザーを対象とした「公開出発式(仮称)」を実施する。

### ③共催イベントの実施

京都府視覚障害者協会など、視覚障がい者団体との共催イベントに参加する。

## 2. 管理部門

### (1) 安定した事業運営のための取り組み

#### ①会員ならびに寄付者に対する取り組み

賛助会員ならびに寄付支援者を増やすための働きかけを継続的に実施する。

#### ②募金箱に対する取り組み

設置協力店を増やすための働きかけを継続的に実施するとともに、募金箱の管理体制を検討する。

#### ③管理部門業務の整備

管理部門の業務を整備するとともに、寄付金の効率的・効果的な使用を図り、無駄のない事業運営を目指す。

## 3. 施設整備計画

### (1) 施設の改修等

#### ①ハーネス研修センター(通称ドームハウス)の改修を行う。

#### ②既存棟の施設整備計画原案を作成し、資金の積み立て等、具体的な検討に入る。

### (2) 備品購入等

#### ①フォローアップ専用車両の代替車を購入する。

#### 4. その他

##### (1) 職員について

(2017年3月末現在)

		正職員数	パートタイマー	資格取得年数
管理部門	所長	1		
	事務長	1		
	経理	1		
	渉外	1		
	総務	1		
	募金箱回収		1	
訓練部門	訓練部長 (歩行指導員兼任)	1		2002年1名
	歩行指導員 (FU専任を含む)	3		2002年1名 2014年1名 2016年1名
	盲導犬訓練士	1	1	2009年1名、2012年1名
	パピー担当者	1		
	繁殖担当者	1	1	正職員1名 訓練士有資格者
	木香テラス※担当者	2		正職員2名 訓練士有資格者
	テラス事務担当者	1		
	普及啓発	2		
計		17	3	

※2018年度は盲導犬訓練士候補として、正規職員を若干名募集する予定

##### (2) 訓練士・歩行指導員等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者の歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク（AGBN）、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加して、訓練技術や視覚障害に関する知識のキャリアアップを実施する。

(3) 訓練について

犬のステージ	期間 (犬年齢)	訓練のステージ	担当職員	内容
仔犬 (委託前) 仔犬 (委託後)	生後 30~50日 1~2歳	パピーウォーキング	木香テラス担当 パピーウォーカー担当	委託前の社会化プログラムの試行 パピーウォーカー宅での基本的な躰や生活
訓練犬	1歳~ 約2歳	候補犬の訓練	訓練士 歩行指導員 担当	木香テラスでのプレ訓練プログラム、
	約2歳	共同訓練 (2週間~4週間)	歩行指導員	視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練
盲導犬	2歳~ 10歳	フォローアップ	FU 専任指導員	盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を持続するために、盲導犬貸与後年1回以上のフォローアップの実施

(4) 施設について

①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 (5,715.71㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3 (2,486㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4 (393㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2 (105.98㎡)

③建物

a. 訓練センター棟 (鉄筋コンクリート2階建て) 826㎡

事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室 (7室)・犬用医務室・犬舎

b. 観察犬舎 (鉄骨平屋建て) 犬室4室 94.60㎡

c. ハーネス研修センター (木造2階建て) 宿泊室3室 122.84㎡

d. 木香テラス (木造一部2階建て) 540.39㎡